

事業予定・報告

1. 講師派遣
 - ① 『良い休養のためのリラクゼーション&コミュニケーション』
2016年2月12日(金) / 講師 猿渡 めぐみ
 - ② 『聴くことと話すこと～家族コミュニケーション～』
2016年3月6日(日) / 講師 若園晴美
 - ③ 『薬物乱用防止教室』
2016年3月22日(火) / 講師 川口るり子
2. 研修会
 - ① カウンセリングスキルアップ研修(2016年度前期)
講師 稲富正治
日程 応答トレーニング編
4/7・5/12・6/2・7/7・8/4・9/1
ロールプレイ編
4/26・5/24・6/28・7/26・8/23・9/27
 - ② 現場で役立つカウンセリングのいろ・は
講師 稲富正治
日時 4/13

ご寄附をありがとうございました

平成26年及び、27年も多くの方々からご寄附を頂きました。頂いた寄附金は、寄附者のご意向に沿った事業に、大切に使用させていただきます。御協力、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

伊藤由子	小泉綾乃	武田美枝	原治之	望月キヨ子	有限会社喜守工業
上原正巳	坂間恒郎	田中直子	樋口伸一	望月隆志	有限会社糸商事
上原由美子	嶋崎幸雄	津田サワ子	日比初美	森五百子	
浮船治代	志村直彦	土屋千津子	福田元	森田豊	
大久保美樹	鈴木守	頭山悦子	福山修三	山口奈津美	
大寺純子	高橋久子	中城京子	福山清蔵	松ヶ枝子どもクリニック	
大寺博	高橋幹雄	難波秀行	福山孝子	合同会社Fukuda研究所	
木村督子	高橋美佐子	濱田嘉信	福山康子	クライシスオフィスマネージメントサービス株式会社	
倉石義久	滝川甲	原格	宮本しん子		(敬称略)

当法人は現在、『認定NPO』取得に向け、様々な活動を続けております。認定要件の一つとして、広く一般から活動が認められ、賛同を得ていることがあり、一定額の寄附を得ていることもそのひとつとされております。寄附についての詳細はホームページ(<http://www.msak.jp/donation.html>)をご覧ください。

編集後記

春一番が吹き荒れたと思いきや、一転身がすくむような寒さに見舞われたりと、気温の変化が激しい日が続きましたね。体調を崩されないよう、ご自愛ください。

新年度に向けて、あわただしく準備が進む中「ふわっとほっと」は早くも4号目の発行となりました。時が過ぎるのは本当に早いものですね。今号も心をこめて作り上げました。発行にあたりご協力いただいた方々、ならびに今号も表紙の水彩画を描いてくださった岩井直子さんに、心より御礼申し上げます。

広報誌担当 中村咲彩

Vol.4

March, 2016

ふわっとほっと

What's hot?

発行 特定非営利活動法人神奈川県メンタルヘルスサポート協会
〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野5-29-23

日頃より、当法人の活動にご関心を寄せていただき、また温かいご支援・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。皆様に支えられ励まされながら、当法人は日々活動を続けております。

今号では、昨年開催した「臨床家のための自律訓練法講座」および、「WISC-IV研修会」の研修レポートを掲載しております。これらの研修会は、専門職の研鑽の場としてご好評をいただいた研修会です。

専門職として、広い視野をもち、研鑽に努めて、地域の皆様のお役にたてることは、専門職共通の願いであります。

さて、春は出会いと別れの季節とも言われ、環境の変化が生じやすい時期で、その変化が新たな経験となり成長・成熟につながってゆくものですが、当法人も新しい事業の開始や発展など、年度ごとに少しずつの変化を重ねております。専門職としての自己研鑽、カウンセリングルームが皆様にとって心穏やかにいられる場所であるための工夫、ベテランから若手への知識や知恵の伝達など…様々な視点から、法人としてのありかたを見直し、変化をし続けております。地域に根ざし、成長を続ける大木のように、新しい芽を大切に育て、木漏れ日で皆様の癒しとなれる、そのような法人でありたいと願っております。

これからも、カウンセリングなどの事業を通して、また、講演・研修会などの活動により、地域の皆様のメンタルヘルス維持・向上に寄与するために、どのような工夫を続けたら良いか、日々考え、実践してまいります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

神奈川県メンタルヘルスサポート協会 理事
猿渡 めぐみ

私たち法人について、1号、2号、3号で全ての班の紹介が終わりました。
今号は「研修企画班」から研修会のご報告を致します。

臨床家のための自律訓練法講座



午前の部
講義：福山 嘉綱先生

自律訓練法の概要、効果、適応・禁忌、自律訓練法実施中に起こる心身の変化について、実際の事例や実証研究の結果を交えながら学びました。特に、自律訓練法の効果について、施行前後の身体的・精神的自覚症状(頭痛や肩こりなど)やサーモグラフィー検査上の変化について、詳しくお話いただきました。

臨床家のための 自律訓練法 実践マニュアル



『臨床家のための
自律訓練法実践マニュアル』

中島節夫 監修
福山嘉綱・自律訓練法研究会 著



午後の部
講義・実習：佐々木 良枝先生／猿渡 めぐみ先生

講義で練習の導入・展開の説明がありました。
その後、スタッフによる第一公式の重感練習導入のデモンストレーションがあり、具体的な導入方法と公式(声のかけ方)を確認しました。

参加者による指導者・クライアント体験(単純椅子姿勢)を行い、多くの参加者から「指導者として、またクライアントとして実際の体験ができて良かった」という感想をいただきました。



講義：中島 節夫先生(精神科医)

「ゆたかクリニック」附属催眠ストレス研究所所長

精神科医の視点から自律訓練法を語っていただきました。
現在の精神科医療の現状、ご自身の長期の自律訓練法指導体験について話され、また、ご自身の海外での自律訓練法の被指導体験を踏まえて「自律訓練法は自分で体験してみないとね」と仰っていました。
指導を試みる者は自らも自律訓練法を経験しておくべき、という参加者へのメッセージは、臨床家のあり方がクライアントにどのように受け止められるかを意識すべきであるという臨床の基本の指摘でもありました。

幅広い職種の方々にご参加いただき、質疑応答の時間では各職場での自律訓練法の導入方法など、活発に意見交換が行われました。

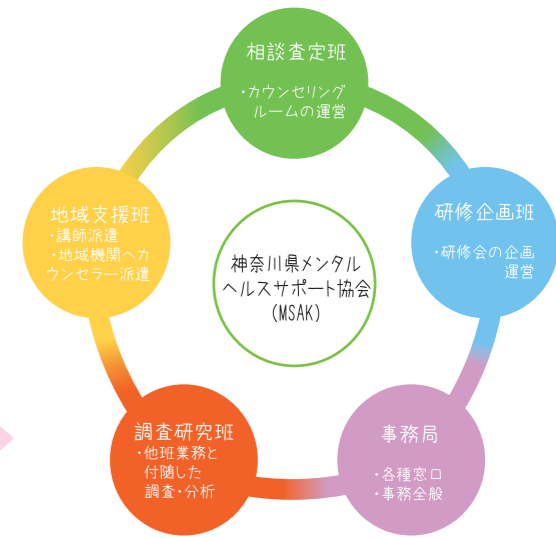
WISC-IV 研修会

講師紹介



NPOフットーロ
LD発達相談センターかながわ

安住 ゆう子先生



午前の部
基本的な概要

WISC-IVの基本的な概要の説明がありました。検査の構成では、下位検査の概要と各下位検査が測っている側面について取りあげられ、各下位検査での観察点、検査時の言動などを含めた評価の必要性について言及がありました。各数値の意味を把握するにとどまらず、行動観察も含め受検者がどのような特徴を有しているかを把握し、「支援につながる解釈」を行うという、WISCの実践的な活用法を学ぶ機会となりました。



午後の部
WISC-IVの解釈

午後は、事例を通じた解釈法をとり上げました。事例の主訴・基本情報、検査結果を通してどのように解釈していくかについて説明がありました。
次に、参加者に参加してもらい各数値、4指標得点を中心に、検査結果を解釈し、指導方針を考えました。講義形式が中心でしたが、参加者も実際に解釈を行う、体験的な研修会となりました。
また、報告書の作成の仕方、載せる情報の範囲など作成における注意点の説明と共に、安住先生が実際に作成した心理検査報告書の内容をご紹介いただきました。

WISC-IVの概要から基本的な解釈の仕方、そして詳細な観察の視点など、1日研修でも時間が足りないと感じるほど充実した研修会となりました。

さがみはらカウンセリングルームでは、WISC-IVの検査予約を承っております。詳細はホームページにてご確認ください。(http://www.msak.jp/test.html)

2016年度も、様々な研修会を企画しております。
研修会の情報はホームページでもご覧いただけます。(http://www.msak.jp/kenshu.html)
みなさまのご参加をお待ちしております。